

保護者等からの事業所評価の集計結果								
公表								
事業所名	てらびあぽけっと西千葉駅前教室							
公表日	2026年 2月 5日							
利用児童数	2025年 12月 25日 26名 回収数 21件							
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				・大部屋と個室があり、いずれの部屋も整理整頓されていて活動に十分なスペースとなっています。 ・個別と少人数グループと、活動しやすい環境が整備されています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2			・セラピーを行うための先生は足りているが、振り回りの時間に子供達をまとめて覚えている先生が必ず振り回りの時間をずらしてセラピーをやった先生方が交代で子供達を見ていたため、もう1〜2人増やした方が良かったと思います。 ・本来に子供と向き合い、適切に指導して下さっております。常に子供が楽しめ学習する環境の中で長所を最大限に引き出してこれたり短所を伸ばしてくれたりして、大変感謝しております。 ・積極的な先生方にお世話になっており、いろいろなやり方をして頂いてありがたいです。	・職員の急な体調不良等による人数調整に伴いご心配をおかけして申し訳ありません。今後も安定したセラピーと安心してお子さんをお任せいただける環境作りに尽力いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、留意特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21				・子供達がわかる表記で教室の環境や物が記載されており配慮をします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・よく整理整頓されており、セラピー終了後に先生方が使用した物品を消毒している様子があり清潔が保たれていると思います。 ・いつも清潔で居心地が良く、子供と遊ぶスペースも広く、楽しいおもちゃも沢山あり大変ありがたいです。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・本来に良く子供と向き合い、子供の性格や趣味嗜好に合わせて支援していただいております。 ・先生が変わっても、子供の特性を熟知されており安心して預けられます。 ・子供達への理解がとてもあり、寄り添ったセラピーだと感じます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1	・リズムワークと個別のセラピーをしっかりとってもらえています。 ・支援内容には本当に大変満足しております。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				・息子に合ったプログラムを大変しっかりと組んでいただいております。日々その進捗を体感しております。 ・施設では丁寧に話を聞いていただき、それに基づいた計画を立てていただいております。 ・子供達にも親にも寄り添いよく話を聞いてくださり計画に反映されていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」を示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1	・子供だけではなく、保護者の話も具体的にアドバイスしてくださる、ありがたいです。 ・非常に適切な、具体的な内容の説明もしっかりして頂いております。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				・セラピーの振り回りで何を目的にしたセラピー内容だったか詳しく説明があり、分かりやすいです。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				・常に子供と向き合って適宜適切な活動プログラムを組んでいただいております。 ・子供達が飽きないようなプログラムが組まれていると思います。 ・その時の子供にあったプログラムにしていきたいです。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	3		3	・幼稚園への聞き取りを実施してもらい良かった。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21				・定期的に計画の振り返りや再検討があり、説明も分かりやすいと思います。 ・非常に分かりやすくて丁寧に説明いただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2		4	・親子参加型の夏祭りやファミリーコンサートがあり楽しかったです。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21				・非常にしっかりと家族の場を設けてにアテンドしてくださるので、大変しっかりと共通理解していただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1	・こちらの悩みや相談にも大変参考になるアドバイスや助言を頂いております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				・いつも重鎮に寄り添って対応していただいております。 ・感謝しております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家業への支援がなされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされているか。	11	4	1	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとわたり、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	21				・非常に丁寧迅速に対応していただいております。 ・非常に丁寧迅速に対応していただいております。	
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名

てらびあぽけっと西千葉駅前教室

公表日

2026年 2月 5日

利用児童数

2025年 12月 25日 26名 回収数 21件

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常 時等 の 対 応	21	定期的に連絡やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			1	・所ぎきれない怪我もあるが、整理整頓された環境の中でしっかりと子供達を見てくれていると思います。	・今後も怪我無く楽しく過ごせる環境作りをしてまいります。
満 足 度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1	・怪我した際、すぐに電話がかかってきて説明があり安心できました。	・今後も安心してお子さんをお任せいただけるよう尽力いたします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・子供が楽しく学べる環境をいつも作ってくださるので、子供も教室が大好きで非常に通わせやすいです。 ・先生方皆さま、優しく、1人1人に寄り添って下さる。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20			1	・子供が楽しく学べる環境をいつも作ってくださるので、子供も教室が大好きで非常に通わせやすいです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・てらびあさんのおかげで、子供も大人もすごく助かっています。育児は孤独感を感じることも多いですが、子供のことで悪いことを指摘されることが多い中、先生方はいつも必ず褒めて下さり、保護者に寄り添ってくださいます。子供が行った良い行為の指図の仕方めzzaで保護者が嫌にならないような言い方をいつも上手にされています。何より先生方がいつも笑顔で迎えて下さることが安心感につながっています。そして、全て丁寧で毎回安心して預けられます。通えるのが未就学児までなのが非常に貴重なくらいです。いつも本当に感謝しております。ありがとうございます。 ・本当に日々大変感謝しております。引き続きよろしくお願い致します。	・大変うれしいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。今後もお子さん一人ひとりに寄り添い、保護者様と共に子育てをしていける事業所であります。全てのお子さんの可能性を最大化できるよう邁進してまいります。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと西千葉駅前教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・個別セラピーが個室でできる。	・個室がもう一部屋あるといい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・1対1以上の配置に加えて、職員の緊急休み分の予備人員もいること。	・見守りや片付け掃除の人手が足りないことが多く、残業が生じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・子どもたちへの視覚情報刺激などは整える様にしている一方で安全配慮の観点であってフェンスを設けるなどバリアフルな環境設定にもなっている。	・子どもたちへの視覚情報刺激などは整える様にしている一方で安全配慮の観点であってフェンスを設けるなどバリアフルな環境設定にもなっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・個別支援計画の更新・新接のときは職員で話し合いができる。突発的に話したいことがある時もみんなで相談できる ・常に計画を意識した話し合いができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・上の方々がアイデアを受け入れやすい空気を作ってくれている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・完全な外部による評価は実施していないが、フランチャイズ本部による評価は実施している。	・詳しくは存じ上げないので、周知いただけると有り難いです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		・更にあっても良いかとは思いますが。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・職員間で都度支援内容を相談しながら組み立てられていると思う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・担当している職員たちからの聞き取りや、保護者からの聞き取りをもとに計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・原案作成後に必ずカンファレンスを行い、職員間で共通理解の上に本案を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・各児童のセラピーファイルに入れ、いつでも見られるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		・標準化されたツール(検査)の導入は今後積極的に行なえると思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・児童のプログラムの進捗具合を見て、ターゲットの策定を行っている。	・気づくと改善が見られないまま長期的に実施していることもあります(一度リストに入れるとやめ時がわからない。特に運動面)。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・発達段階や主張が似通っている児童を共同活動にするなど、先を見据えた活動の提供をしている。	・集団活動は現在のSST以外も、幼稚園に慣れる用のプログラム、就学前のプログラムなど子どもの発達段階や狙いに合わせて種類を持たせられると思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・支援については個別指導の為、各職員に朝礼での役割分担などを伝えることはあまりないが、状況により職員同士での話し合いは設けている。また、その他の共有事項や教室としての動きなどについては必ず共有している。 ・必要ときは適宜打ち合わせができるので、毎支援前に固定で行う必要は感じません。	
供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・終礼時にその日の保護者から得られた情報などを共有している。その日の支援についての気づきは記録に残し、次回担当職員に情報共有ができるようにしている。 ・時短のため、終礼にはいませんが、その日にいない職員が、次回担当だったりますので、HUGやヒヤリハットの表での共有で充分足りているように思います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・療育センターなどからの検査結果の共有を保護者から受けることはできていると思います。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・こちらから働きかけることは行っていないが、保護者にそのご要望があるか確認し、要望に合わせて行う体制は作っている。

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・研修の知らせは受けたかと思います。先生方のご意思次第で良いかと思います。 ・センター主催の研修会などへの参加はしている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・利用児童の在籍する園などには定期的な訪問や電話による共有を行っている。また、地域の子どもたちも対象にしたイベントなども開催している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・毎回丁寧なフィードバックを行っている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・フィードバック時にご相談を受けて、職員からの助言を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・定期的な面談や日頃のご利用時に保護者からの意見や児童の様子、気持ちを観察し計画に反映するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・毎回のフィードバック時に相談を受け付けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者様が自身のお子様の様子と、他のご家庭の様子を比較して思い悩むきっかけにもなる可能性を考慮し、慎重に検討を重ねている。 ・家族で参加できるイベントなどを開催し、保護者同士の接点ができる場面を作っている。	・今後あれば良いかと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・社内向けSNSでの扱いについて少し疑問は感じます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・どういった伝え方が受け入れやすいかなどを配慮している。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・契約時に説明している。	・防犯対応の研修はしてみたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、風邪や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在、食物アレルギーについて医師の指示書を要する児童がいない。 ・対応が必要な児童がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	・日々の対応の中でどこが絡引きなのかを意識している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけつと西千葉駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 15日 ～ 2025年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2025年 11月 15日 ～ 2025年 12月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を基本とし、子ども一人ひとりの特性や状態に応じた支援を行える体制が整っている。	個別支援計画を意識しながら、職員間で情報共有や振り返りを行い、支援内容の改善に努めている。	支援環境や設備面について継続的に検討し、より安心して支援が行える環境整備を進める。
2	個室での個別セラピーが可能であり、落ち着いた環境の中で支援を提供できている。	子どもの特性や安全面に配慮し、刺激量の調整や構造化された環境設定を行っている。	研修機会の確保や内容の充実を図り、職員一人ひとりの専門性向上につなげる。
3	職員間での相談や意見交換が活発で、チームとして支援の質向上に取り組んでいる。	職員の意見や提案を受け入れやすい雰囲気づくりを意識し、組織全体で支援の向上を図っている。	支援の質を維持・向上させるため、定期的な振り返りと改善を継続して行う。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	見守りや片付け、環境整備等において、人手が不足する場面が生じることがある。	個別支援を重視しているため、支援以外の業務に十分な人員を割けない時間帯がある。	業務分担や動線の見直しを行い、業務効率化と職員の負担軽減を図る。
2	個室数に限りがあり、支援環境の拡充に課題がある。	限られたスペースの中で支援を行っており、環境調整に制約がある。	人員配置や支援体制について定期的に検討し、安定した支援提供ができる体制づくりを行う。
3	業務が特定の時間帯に集中し、職員の負担が大きくなることもある。	日々の業務量が多く、業務分担や効率化に改善の余地がある。	支援環境や設備面について、優先順位を整理しながら段階的な改善を進める。